

施工説明書

INAX

小型電気温水器

EHPN-F13N2/EHPN-F13N2(2P)、EHPN-H25N2/EHPN-H25N2(2P)

施工時には必ずお守りください。

以下は安全のための注意です。施工前に必ず読み、施工時に必ずお守りください。

この説明書では、誤った施工による事故を未然に防ぐため、工事者または使用者の安全に関する注意事項にマークをつけて表示しています。

マークの意味は次の通りです。施工前によく読み正しく施工してください。

警告

作業を誤った場合に、設置作業者が、又は設置工事の不具合によって人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

注意

施工を誤った場合に、人が傷害を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

記号の説明

「注意しなさい！」(上記の「警告」、「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)

「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

「必ずアース接続をしなさい！」

警告

内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。
感電や火災の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。

屋外には設置しないでください。
屋内でも水がかかったり、表面に結露が生じたりするような湿気の多くなる所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。
故障や感電の原因となります。

機器用に設置するコンセントは「アースターミナル付接地極付コンセント」をご使用ください。
故障や漏電時に感電・火災の恐れがあります。

アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・規則等に従って、必ず「法的有資格者(電気工事士)」によるD種接地工事(100 以下)を行ってください。
また漏電遮断器を設置してください。
故障や漏電時に感電の恐れがあります。

この機器はAC100V 450W(EHPN-F13N2 の場合)、AC100V 450W(EHPN-H25N2 の場合)、の電力を消費します。
必ず適した配線をしてください。また、200Vに接続しないでください。
火災の原因となります。

水道水(水道事業体が供給する上水)以外の水を使用しないでください。
早期に機器が破損し、感電・火災の原因となります。

注意

機器内のタンクが満水になっていない場合は、電源スイッチを「入」にしないでください。
機器の破損やヤケドの恐れがあります。

この機器は車両、船舶での使用はできません。
機器の故障だけではなく、漏電、漏水などの恐れがあります。
この機器は太陽熱温水器や、他の給湯機器との接続はできません。
機器が破損し、漏水の恐れがあります。

この機器は、給水圧力 0.05～0.75MPa の範囲でご使用ください。
水圧が高い地域に設置した場合、止水時に缶体内部の水圧が高くなり、膨張水口から水がふき出し続ける恐れがあります。

膨張水口からの膨張水排水ホースは、確実に配管施工してください。
漏水の恐れがあります。

水栓への接続は 1 ヶ所だけにしてください。2 ヶ所以上に接続しないでください。
水栓から湯が出なかったり、著しく出が悪くなったりする恐れがあります。

1.仕様

本体品番	EHPN-F13N2	EHPN-F13N2(2P)	EHPN-H25N2	EHPN-H25N2(2P)
外形寸法(W×D×H)	286mm×347mm×370mm		431mm×347mm×370mm	
質量	本体約 7.7 kg(満水時約 20.7 kg)		本体約 10 kg(満水時約 35 kg)	
使用水圧範囲	0.05(流動圧)～0.75MPa(静水圧) 自動水栓と組み合わせる場合は流動圧で 0.1MPa 以上必要			
減圧弁設定圧力	0.08MPa			
電源コード	接地極付タイプ 有効長さ 1.5m	アース線タイプ 有効長さ 2.1m	接地極付タイプ 有効長さ 1.5m	アース線タイプ 有効長さ 2.1m
電気定格	定格電圧	単相 100V		
	ヒーター能力	450W		700W
タンク容量	約 13L		約 25L	
出湯温度	約 60			
わかあがり時間 水温 15 時	約 90 分 (15 60)		約 112 分 (15 60)	
発熱体構造	シーズヒーター			
自動温度調節器	バイメタル方式(自動復帰式)			
温度過昇防止器	バイメタル方式(手動復帰式)			
使用可能雰囲気温度	0～40 (ただし凍結しないこと)			

2.同梱品・別梱品一覧

施工前に同梱部品を確認してください。

本体

排水用ビニールホース
(本体取付け済)
内径 6×650mm

説明書セット

固定金具
固定用ねじ A(4×20):2 本
固定用ねじ B(4×10):4 本

3.別売品一覧

は必要別売品

品名	品番	備考	外観概略	
フィルター付止水栓	ELF-3EK	壁給水用	壁給水用	床給水用
	ELF-3SEK	床給水用		
排水器具	EFH-4/PT EFH-4	カウンター用 (/PT はグレース色)	<div><div></div><div>膨張水排水ホース (7×500mm)入り 図は EFH-4/PT</div></div>	
	EFH-4K	化粧台用		
	EFH-4-25/ PT	25 排水管 対応用		
膨張水排水ホース	EFH-1M	内径 7mm×1m	排水器具に同梱されているホースは長さ 500mm です。長さが足りない場合に手配してください。 ホースバンドは、排水器具に同梱のものをご使用ください。	
自動水栓接続継手	FH-K1	自動水栓(サーモスタット付タイプ)を壁固定して接続する場合に使用	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	
固定脚	EFH-DA1	カウンター下など床上に直接施工する場合に使用	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> 4 本入り	
固定金具	EFH-KK1	カウンター下に壁から離して設置する場合に使用	<div><div></div><div></div></div> 固定用ネジ (4×20) 2 本入り	
排水曲り管 (32mm)	EFH-HM1	排水芯から壁面までの距離が短い場合 (Pトラップ用)	<div><div></div><div>【設置条件】 洗面器排水芯から壁面の距離 ・EFH-HM1:140～223mm ・EFH-HM1-25:160～229mm</div></div>	
排水曲り管 (25mm)	EFH-HM1-25			
ウィークリータイマー	EFH-TM4	電気温水器へ通電する時間を設定する場合に使用	EHPN-F13N2、EHPN-H25N2 の場合	<div><div></div></div>
	EFH-TM2		EHPN-F13N2(2P)、EHPN-H25N2(2P)の場合	

【その他現場での調達品】

ステンレスフレキシブル管(1/2B、呼び径 13mm)、1/2B パッキン、ニップル、断熱材

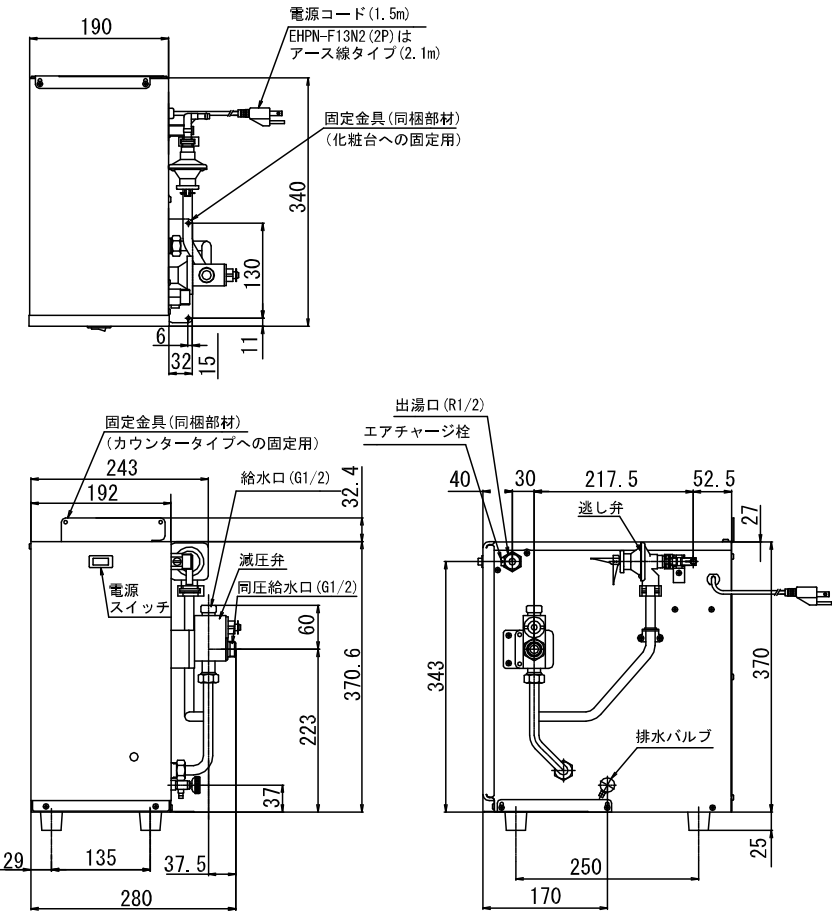
1 EHPN-H25N2 をミニキッチンに組み合わせる場合

排水トラップの形状で選定ください。EHPN-F13N2 は湯量不足のため組合せできません。

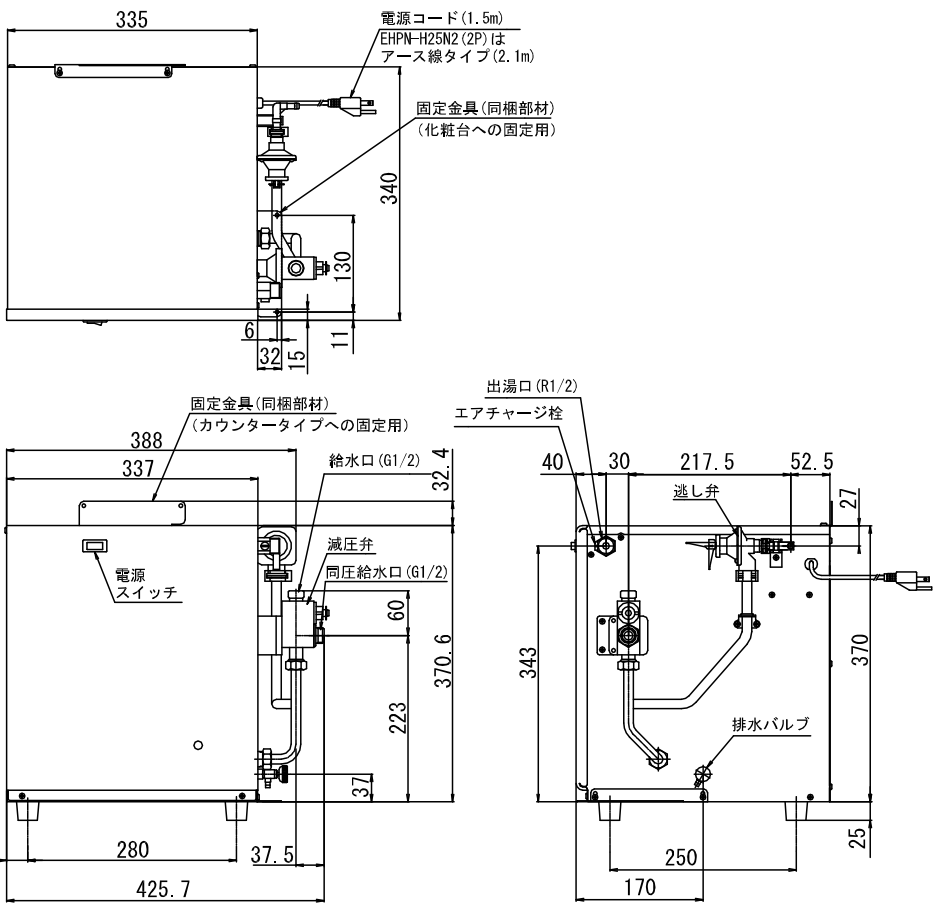
トラップ形状	排水器具品番	名称	部品
<div><div></div><div>2 インチ</div></div>	EFH-4MK	キッチン 2 インチ用	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
<div><div></div><div>1.5 インチ</div></div>	EFH-4MK-1H2	キッチン 1.5 インチ用	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
<div><div></div><div>2 インチ</div></div>	EFH-4MK-AS	キッチン用 2 インチ 横引きわん形用	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>

4 . 寸法図

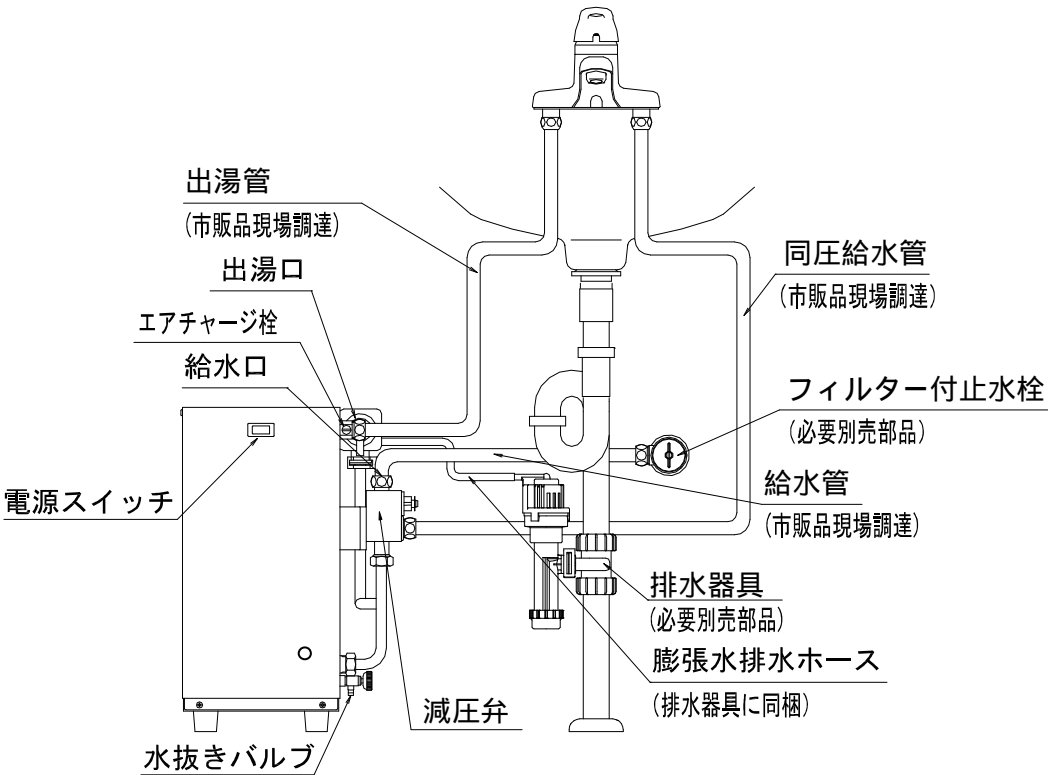
EHPN-F13N2、EHPN-F13N2(2P)



EHPN-H25N2、EHPN-H25N2(2P)



5 . 標準施工例図



6 . 取付け手順

電気温水器 (以下機器) を取り付ける前に、水栓金具本体や自動水栓吐水口をキャビネットやカウンター、また自動水栓の説明書にしたがって取り付けてください。
機器はキャビネット内やカウンター下へ設置してください。床下や天井には設置しないでください。
機器への配管は、市販のステンレスフレキシブル管(1/2B:呼び径 13mm)を使用してください。
機器から水栓までの配管は、市販のステンレスフレキシブル管(1/2B:呼び径 13mm)で 1m 以内としてください。それ以上になると、水栓から湯が出なかったり、著しく出が悪くなったりする恐れがあります。
止水栓と給水口の間に逆止弁を入れないでください。逆止弁は減圧弁に内蔵されています。

6 - 1 . フィルター付止水栓の取付け

必要別売品のフィルター付止水栓を取り付けます。



必ずフィルター付止水栓 (必要別売品) を取り付けてください。

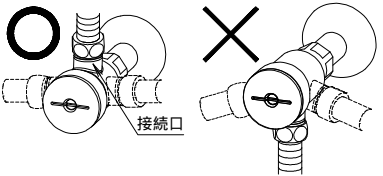


機器内にゴミが入り、故障の原因となります。
接続口が上向きまたは横向きになるように接続してください。



下向きに取り付けるとフィルター清掃時に配管にゴミが入り、機器が故障する原因になります。

給湯配管に使用しないでください。
故障の原因となります。

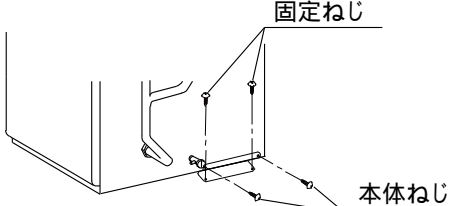


6 - 2 . 固定金具および取付脚(カウンター下設置の場合のみ)の取付け

機器本体に取り付いているねじを一度外し、そのねじを使用して取り付けます。

(A)キャビネットに取り付ける場合(床固定をします)

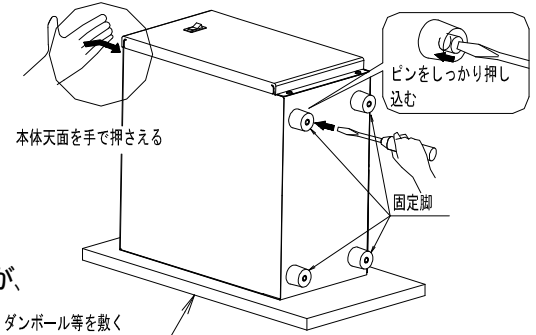
機器下部のねじを使用し、固定金具(付属)を共締めします。



(B)カウンター下に取り付ける場合(壁固定)

【固定脚(EFH-DA1、別売品)の取付け】

梱包の上など機器を寝かせます。
ダンボール等を下に敷いて、本体に傷つかないように扱ってください。



機器底面の穴に固定脚を差し込み、ドライバー等で固定脚中心部のピンをしっかりと押し込みます。
穴の内側にパッキンを貼り付けていますが、そのまま打ち込んでください。

【固定金具の取付け】

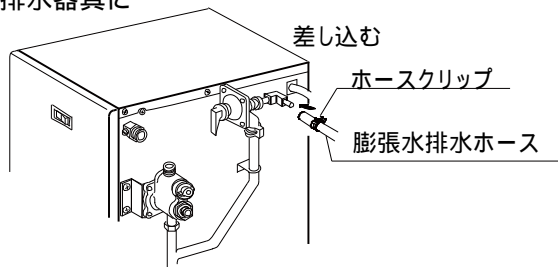
壁面に直接固定する場合	配管等があり、壁面に直接固定できない場合
機器上面後部のねじを使用し、固定金具(付属)を共締めします。	機器側面下部のねじを使用して固定金具(EFH-KK1、別売品)を共締めします。
<p>固定用ねじB (4×10) (Fixed screw B (4×10))</p> <p>固定金具 (Fixed bracket)</p>	<p>固定金具 (Fixed bracket)</p> <p>本体ねじ (Main screw)</p>

6 - 3 . 膨張水排水ホースの接続



膨張水排水ホースは確実に配管施工してください。
漏水の恐れがあります。

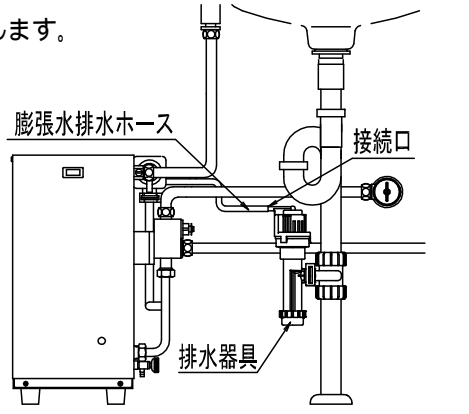
別売の排水器具を準備してください。
排水器具の取付けは、排水器具に付属の施工説明書にしたがって行ってください。
膨張水口に膨張水排水ホースを差し込み排水器具に付属のホースクリップで固定します。



排水器具(EFH-4/PT、EFH-4、EFH-4K、EFH-4-25/PT)を排水管に接続します。
排水器具の取付けは、排水器具に付属の施工説明書にしたがって行ってください。

排水器具の接続口に、膨張水排水ホースを接続します。

排水器具に付属の排水ホースが膨張水口から排水器具まで届かない場合は別売のホース(EFH-1M、内径 7×1m)を使用してください。
膨張水排水ホースの長さは1m 以内としてください。
排水器具のホースの接続口が逃し弁より高い位置にあっても膨張水の排水に影響ありません。



6 - 4 . 機器への配管

機器への配管は、市販のステンスフレキシブル管(1/2B:呼び径 13mm)を使用してください。

この機器は 0.75MPa を越える高水圧地域では使用しないでください。
機器が破損し、漏水の恐れがあります。

機器を接続する前に、配管の漏水・耐圧検査を実施してください。
給水、出湯、同圧給水の配管は 1m 以内にしてください。

ステンスフレキシブル管の接続は必ずスパナ 2 丁
使用するなどして、取り付ける相手の機器に無理な
力がかからないよう注意して接続してください。
また接続部には、必ず耐熱のシートパッキンを使用して接続
してください。
漏水の恐れがあります。
機器を接続する前に、20L 程度水を流し、配管内の
ゴミ等を取り除いてください。
機器にゴミが進入し、故障の恐れがあります。

(A)混合水栓に取り付ける場合

給水管の接続

止水栓と機器の給水口とを
ステンスフレキシブル管で接続します。

同圧給水管の接続

水栓の水側と機器の同圧給水口とを
ステンスフレキシブル管で接続します。

出湯管の接続

水栓の湯側と機器の出湯口とを
ステンスフレキシブル管で接続します。
で接続したステンスフレキシブル管に、
断熱材(現場調達)を巻きます。

機器の給水口と出湯口を逆に接続しないでください。
高温の湯が出てヤケドの恐れがあります。

(B)ホース付混合水栓(ワンホールシングルレバー混合水栓など)に取り付ける場合

給水管の接続

止水栓と機器の給水口とを
ステンスフレキシブル管で
接続します。

同圧給水管の接続

水栓の水側と機器の同圧給水口を
ステンスフレキシブル管で
接続します。

出湯管の接続

水栓の湯側と機器の出湯口とを
ステンスフレキシブル管で
接続します。
で接続したステンスフレキシブル管に
断熱材(現場調達)を巻きます。

(C)自動水栓(オートマージュ)に取り付ける場合

自動水栓接続キット(FH-K1、別売品)が必要です。
施工方法については、FH-K1 の施工説明書および自動水栓(オートマージュ)の施工説明書
を合わせてご確認ください。
自動水栓はサーモスタット式 100V仕様のみ組合せ可能です。
自動水栓に付属の定流量弁は外してください。
現場の流動時給水圧が 0.1MPa 以上であることが必要です。

6 - 5 . 機器の固定

機器の前扉を壁面に向けて設置しないでください。
メンテナンスができなくなります。

(A)洗面化粧台に取り付ける場合(床固定)

化粧台底板の補強木の位置を確認します。

固定金具の下に補強木がある場合	固定金具の下に補強木がない場合
付属の固定ねじで固定します。 	底板の上に取付板(9mm)を別途準備し固定用 ねじで固定します。

(B)カウンター下に取り付ける場合(壁固定)

固定前に取付面の強度を確認してください。

壁面に直接固定する場合	壁面から離して固定する場合
付属の固定ねじで固定します。 	固定金具(EFH-KK1、別売品)に付属の固定 ねじで固定します。

7 . 電気工事

漏電遮断器を必ず設置してください。
必ずアースを接続してください。
アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・規則等にしたがって、
必ず「法的有資格者(電気工事士)」によるD種接地工事(100 以下)を行って
ください。
故障や漏電時に感電の恐れがあります。

200Vには接続しないでください。
内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。
内部配線や電源コードを補修する必要がある場合は、現場で加工せず専用
補修部品と交換してください。
感電や火災の原因となります。

機器の取付位置より 1.5m 以内の所に、本機器専用 100V・15A の「アースターミナル付接
地極付コンセント」(パナソニック電工製 品番:WTF113239W、WN1132K 推奨)を
用意します。
D 種接地工事が行われたコンセントにアースを接続します。

(A) EHPN-F13N2、EHPN-H25N2 の場合

アースターミナル付接地極付コンセント

接地極のないコンセントに接続しないでください。
接地極のないコンセントが設置されている場合は、コンセントを付け替えて
ください。
故障や漏電時に感電・火災の恐れがあります。

(B) EHPN-F13N2(2P)、EHPN-H25N2(2P)の場合

アースターミナル付接地極付コンセント

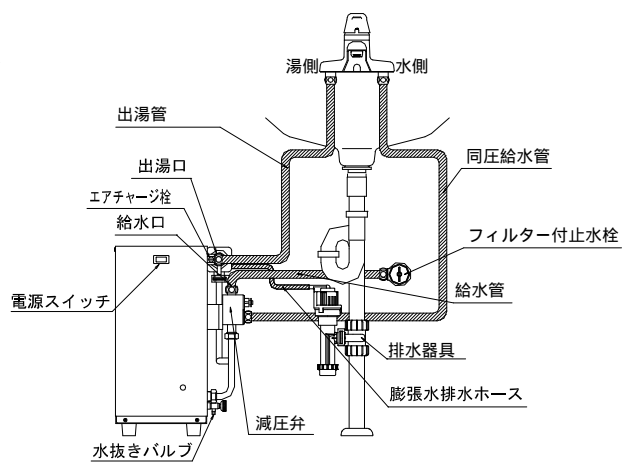
このような接続は絶対
に行わないでください。

アースターミナルのないコンセントには接続しないでください。
すでにアースターミナルのないコンセントが設置されている場合は、コンセントを
付け替えてください。コンセントの付替えが困難な場合は、アースターミナル付変
換アダプター(定格125V・15A / 参考:松下電工品番WH2881P)を別途ご準備の上
接続してください。
故障や漏電時に感電・火災の恐れがあります。

EHPN-F13N2、EHPN-F13N2(2P)の場合、100V/450W、
EHPN-H25N2、EHPN-H25N2(2P)の場合、100V/700W の電力を消費します。

8.凍結予防

給水管、同圧給水管、膨張水排水ホースには必要に応じて断熱材またはヒーターを巻きます。(右図の部)室温が0以下になる場所では、試運転のために通水した後、「10.水抜き方法」にしたがって、本体・排水器具・配管の水抜きを実施してください。機器のスイッチが入っていない場合引渡しまでの間に凍結する恐れがあります。



9.施工後の確認・処置

確認後、取扱説明書、施工説明書とともに、止水栓の開閉金具をお客さまにお渡しください。

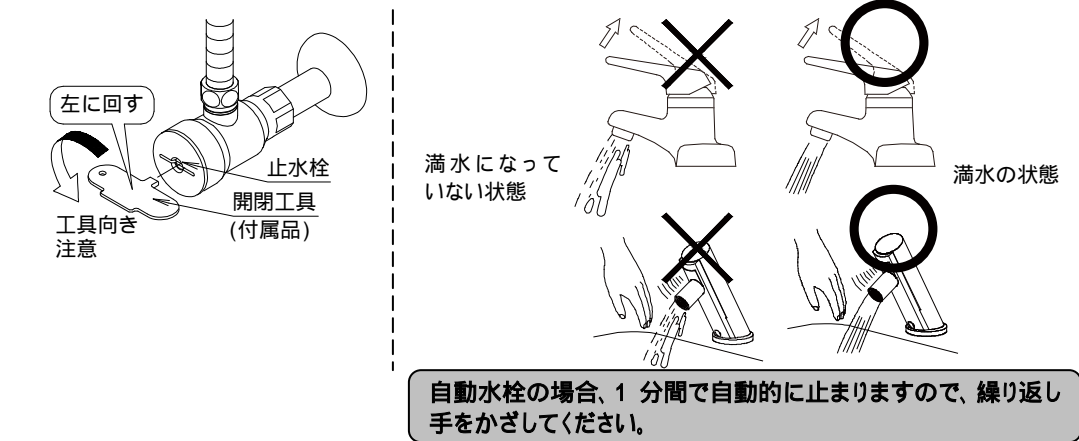
(1)膨張水排水ホースの確認

以下の点を確認して、必ず膨張水排水ホースの配管が行われていることを確認します。
専用の排水器具が取り付けられていること。
排水器具が目視で垂直に取り付けられていること。
排水器具と機器の膨張水口とが確実に接続されていること。

膨張水口からの膨張水排水ホースの施工が行われているか確認してください。漏水の恐れがあります。

(2)通水の確認

給水・出湯配管が確実に接続されていることを確認します。
給水配管内のゴミを取る作業(「6-4.機器への配管」を参照ください)を行ったか、再度確認します。ゴミをまだ取っていない場合は、いったん機器を取り外し、水を流して確実に配管内のゴミを取り除いてください。
ゴミが残っていると、機器にゴミが侵入し、故障の原因となります。
止水栓と水栓(混合水栓は湯側)を開きます。
空気を巻き込みながら吐水され、数分経過すると、吐水が安定し通水が完了します。



水栓を閉め、各接続部から漏水がないことを確認します。
(混合水栓を接続している場合のみ)
混合水栓の水側を開き、水が出ることを確認します。

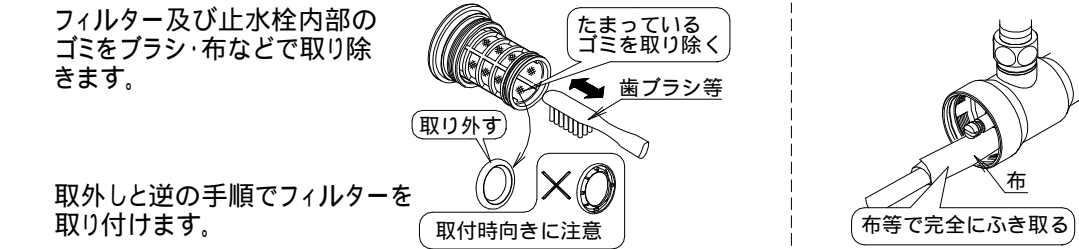
(3)フィルターの掃除

通水の確認が終了したら、フィルターの掃除を行います。
止水栓を閉めます。

必ず先に止水栓を閉めてください。漏水の恐れがあります。

フィルターを取り外します。

フィルターを取り外すと、止水栓から水がこぼれます。
止水栓下部に洗面器などで水を受けてください。



(4)流量の調整

フィルターの掃除が終了したら、流量の調整を行います。
止水栓、水栓を開け、必要以上の水量、あるいはオーバーフロー能力以上に吐水されないよう、止水栓で流量を調整します。

必ず止水栓で流量を調節してください。流量が多すぎると、水はねや湯切れなどのトラブルの原因となります。

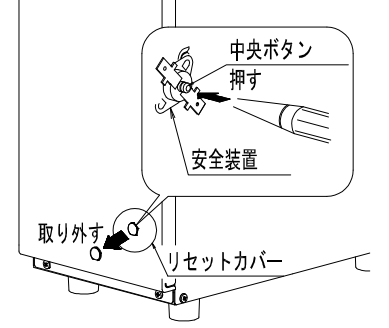
(5)機器への通電

(1)から(4)まで行ったら、電源プラグを確実に差し込みます。
電源スイッチを「入」にします。
電源スイッチが点灯します。

機器内のタンクが満水になっていない場合は、電源スイッチを「入」にしないでください。機器の破損や、ヤケドの恐れがあります。

【電源スイッチを「入」にしてもスイッチ部が点灯しない場合】
安全装置である過昇防止バイメタルが作動していることが考えられます。
一旦電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、機器本体右側面のリセットカバーを取り外し、ボールペンの端などで機器内にある安全装置の中央ボタンを押し込んでください。

必ず機器内の湯を出し切ってください。機器内に湯が残っていると、水抜き時にヤケドの恐れがあります。



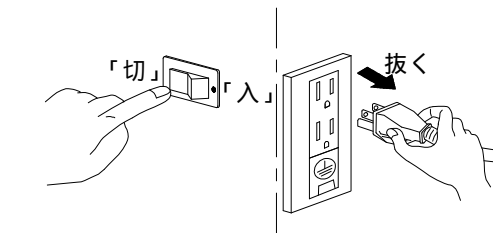
10.水抜き方法

施工後、引渡しまでに凍結の恐れがある場合、以下の要領で機器内の水を抜いてください。

【本体の水抜き方法】

電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜きます。

水栓の湯側を開け、水栓から出てくる温度が水道水と同じになるまで流します。



水栓を開けたまま止水栓を閉めます。

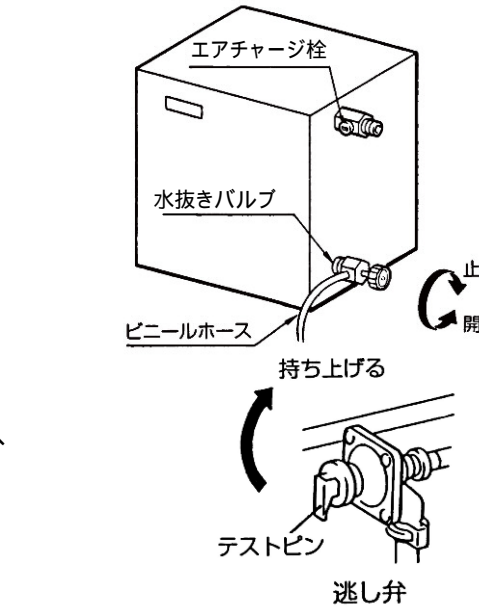
減圧弁の水抜き栓を押して、給水配管内の水を抜きます。



排水を容器等で受ける準備をし、付属のビニールホースを水抜きバルブに差し込みます。

水抜きバルブを左に2~3回程度回します。

固くて回しにくい場合はベンチ等を使用してください。



逃し弁のテストピンを立てます。
排水するために、出湯口にあるエアチャージ栓を開けます。マイナスドライバーなどを使用して左へ2~3回転させます。

水抜きバルブを開けてからエアチャージ栓を開けてください。
水抜きバルブを閉めた状態でエアチャージ栓を開けると、栓から水が出てきます。

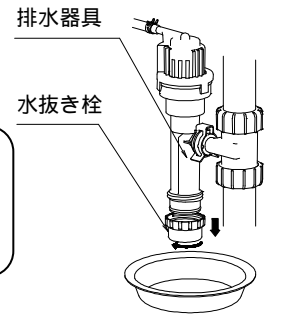
必ず機器内が水になっていることを確認してから水抜きバルブを開けてください。高温の湯によりヤケドの恐れがあります。

タンクの水が抜けたら、水栓の水側を開け、同圧給水配管の水を抜きます。
タンク内の水が抜けたら、水抜きバルブ、エアチャージ栓、減圧弁の水抜き栓を閉め、逃し弁のテストピンを元に戻します。

【排水器具の水抜き方法】

排水器具の水抜き栓を開けて、排水器具内の水を抜きます。

<水抜き前には>
排水器具下部に水を受けるトレイ等を準備してください。
<再使用時には>
必ず水抜き栓を取り付けてください。



11.施工後の最終確認

全ての作業が完了後、引き渡す前に、下記の表にて最終確認をしてください。

確認項目	確認内容	チェック欄
電源電圧	AC100V 電圧がコンセントに供給されているか	
止水栓	必要別売品の止水栓が施工されているか	
排水器具	必要別売品の排水器具が施工されているか	
漏水	内部の配管・缶体や配管接続部から漏水がないか	
流量	水栓の施工説明書に合った流量になっているか ()流量が少ない場合は、フィルターの掃除を行う	
保証書	必要な内容を記載したか	

確認後、取扱説明書、施工説明書とともに、止水栓の開閉金具をお客さまにお渡しください。

お問合せ先
(株)INAX「お客さま相談センター 商品相談窓口」
ナビダイヤル TEL0570-017173
受付時間 平日 9:00~18:00
土日・祝日 10:00~18:00
(年末年始・夏季休暇は除く)
ナビダイヤルは、PHS・IP 電話などご利用できません。
TEL0562-31-0793 をご利用ください。
ホームページアドレス: <http://www.inax.co.jp>